

会議名 (審議会等名)	平成29年度 第3回 川西市青少年問題協議会		
事務局 (担当課)	川西市教育委員会 こども未来部 こども家庭室 こども・若者政策課 内線(3441)		
開催日時	平成30年2月16日(金) 午後3時~4時		
開催場所	川西市役所2階202会議室		
出席者	委員	阪田憲二郎、熊田早苗、木部美代子、高木佳子、荻田雅仁、矢野孝雄、中井成郷、澁野敏彦、松山幸一郎、掛井政之	
	事務局	こども未来部 部長 中塚一司 こども家庭室 室長 山元昇 こども・若者政策課 課長 岩脇茂樹 主査 鳥越永都子 主任 池田次郎	
傍聴の可否	<input checked="" type="radio"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可の場合、その理由			
会議次第	1. 開会 2. 報告事項 (1) 川西市子ども・若者育成支援計画改定にかかるパブリックコメントについて (2) 平成29年度「青少年ふれあいデー」について (3) 平成29年度「青少年の表彰」について (4) 平成29年度「青少年フォーラム」について (5) 組織改正について 3. その他 4. 閉会		
会議結果	報告事項 (1)~(5)について報告		

審 議 経 過 (要 旨)

1. 開会 (15 : 00)

事務局のあいさつ、欠席者・資料の確認。

2. 報告事項

報告事項 (1) 「川西市子ども・若者育成支援計画改定にかかるパブリックコメントについて」
(「資料 1-1」 「1-2」 「1-3」 「1-4」 「子ども・若者育成支援計画 (案) 」 に基づき説明)

(会長)

ありがとうございました。ただいまのご説明に対しましてご不明な点とか質問があればお願いいたします。

(会長)

無いようですが、報告が続きますので、またあれば、後ほどおっしゃってください。

報告事項 (2) 「平成 29 年度『青少年ふれあいデー』について」

(「資料 2」 に基づき説明)

(会長)

ご意見等ございましたら、お願いいたします。審査にあられた委員もいらっしゃいますので、ご感想等あればお願いいたします。

(委員)

前日も申し上げたことですがけれども、川柳コンクールについて、市内の方に出して欲しかったのですが、一般の部が市外の方ばかりでしたので、残念に思いました。小・中学生の部は、学校をあげて取り組んでくださっていてよかったなと思います。

(委員)

残念ながら写真コンクールも川柳と同じように市内の応募者がいらっしゃいませんでしたので、非常に残念だと思いました。参加者は増え、良い作品が出るようになっているんですが、その分、どこかで見ることがある作品が増え、オリジナリティ、独創性に富んだ作品というのは、レベルが上がった分無くなっているように感じます。

(会長)

ありがとうございました。他に無いようですので、次の議題にまいります。

報告事項 (3) 「平成 29 年度『青少年の表彰』について」

(「資料 3」 に基づき説明)

(会長)

はい。ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、ご意見やご質問はございますでしょうか。

(会長)

よろしいでしょうか。特にないようですので、次にまいります。

報告事項(4)「平成29年度『青少年フォーラム』について」

(「資料4」に基づき説明)

(委員)

定員は30人で申し込みが73人とのことですが、26家族ということで、どういう風に絞られたのですか。

(事務局)

抽選を行いました。

(委員)

家族単位で申し込むということですね。

(事務局)

その通りです。

(会長)

では、他にないようですので、次にまいります。

報告事項(5)「組織改正について」

(「資料5」に基づき説明)

(会長)

ご説明ありがとうございました。ただいまの事務局の説明に対し、何かご質問等ありますでしょうか。

(委員)

青少年センターの機能はこども・若者ステーションに入るのでしょうか。

(事務局)

青少年センターにつきましては、こども・若者ステーションの中に位置づけをさせていただくという形で調整を進めさせていただいておりまして、来年度4月からは、ステーション準備担当において位置づけがされます。

その後、開設されましてからは、ステーションの中の一つの組織という形で位置づけをさせていただきますので、補導委員の皆様におかれましても、センターと一体になって活動していただいておりますので、所管課は変わるることとなります。

(委員)

この中に入れば、40歳の方まで支援という形になります。今我々は高校生までという支援活動を行っていますが、40歳になると話が全く違ったものとなります。今引き受けてくださっている方の中には辞退される方もいると思います。小・中学校からの推薦で来られている方が沢山おられますから。

(事務局)

センターの活動はセンターの活動として大切にさせていただきます。そういう意味合いでは今までの活動を引き続いて実施していただくというのが基本とはなってくるのですが、ただ、ご存知の通り、若者の支援という部分に関しましては、ひきこもりやニートを含めまして、非常に大きな社会問題になりつつありますので、18歳から39歳までの若者も対象にさせていただいております。ですので、センターの方での年齢制限につきましては、センターの活動として大切にさせていただきながらも、ステーション全体としてはそういった年齢制限にさせていただいております。

ただ、将来的には、ご事情が許すようでしたら、補導委員の皆さまには、地域で青少年を見守っていただいているということもございますので、情報を提供していただくとか、支援施策を一緒になって考えていただくとか、そういう部分でご協力いただければと考えております。

(委員)

難しいと思いますよ。

(委員)

やはり初めから、そういった条件のもとで行動しないと、そういうことはできないと思います。例えばひきこもりの件ですが、情報が入ってこないんですよ。学校からも個人名をいただくこともありませんし。どうしたら良いのか分かりません。

(事務局)

ご指摘に関しましては、ごもっともだと考えております。青少年センターにつきましては、長い歴史や活動の経過がございますし、ステーションの中に位置づけがされるということですので、良い関係を保ちながら、困難を抱える地域の若者支援の環境が作っていかれたらいいなと、そう思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

(委員)

4月で改選となりますが、事務局の皆さんに会議などに来ていただき、話をさせていただくことはできませんか。

(事務局)

こちらとしても、お話をさせていただきたいと考えておりますので、よろしくおねがいします。

(委員)

若者ステーションについてですが、青少年地域活動支援というものが掲げられています。ひ

きこもり、ニートなどの問題は重要であると思うのですが、私たちも団体としていろいろな活動が続ける中、なかなか地域の若者と出会うことが難しく、新たな取り組みをするにも出会うツールがありません。

何か社会に接することに問題を抱えている方の支援は当然ですが、積極的にいろいろなことに交流を持とうと考えている若者と出会うチャンスを生み出すプログラムというのは考えていますか。

(事務局)

おっしゃる通り、青少年支援ということ考えた時、まずは顔を合わせる事が重要となってくると思います。先ほど説明をさせていただいた「青少年フォーラム」の趣旨はそういうところにありました。NPO法人「ブルービーンズショア」という団体は大和地区に本部を置く団体です。大学生約30人程度が在籍しているのですが、そういう方と青少年育成団体、ボランティア、小学生の方、みなさんが交流できる場を設定できないかということで、今回企画させていただきました。今後につきましても、計画上ではこういったイベントの検討を進める旨を記載しております。

ただし、市の現在の方向性といたしましては、困難を抱える若者の支援に対する比重が高くなっております。

(委員)

せっかく子ども・若者ステーションという場所が出来るといことですし、市内にはいろいろな活動団体がおられます。そういった団体にお声がけするのはいかがでしょうか。ご検討いただければと思います。

(会長)

ありがとうございました。それでは、これもちまして本日の会議を終了させていただきます。司会を事務局にお返しいたします。

閉会(16:00)

事務局あいさつ。